

会 議 録

会議の名称	第3回 日向市上下水道料金等審議会
開催日時	令和6年8月5日（月） 14時00分から15時45分まで
開催場所	日向市民健康管理センター2階 多目的ホール
出席者	<p>【委員】 審議会委員10名、うち出席者10名 学識経験者 宮崎大学地域資源創成学部 学部長 桑野 斉 公認会計士 中村 景子 関係団体 日向市区長公民館長連合会 理事 日高辰彦 日向商工会議所 事務局長 野口 洋 日向社会福祉協議会 事務局長 大野 靖文 日向市PTA協議会 会長 葛西 了一 公募市民 出口貴史 山本恵子 関係行政機関 日向土木事務所 技術次長 浜川浩一 日向保健所 衛生環境課長 林田哲也</p> <p>【事務局】 上下水道局長 大坪真司 下水道課長 日吉知博 下水道課 課長補佐 上杉幸司 係長 直野将司、福良晃宏 係員 加那屋聡、大浦沙穂、奥野貴之</p>
議 題	1) 今後の事業費や経営状況の見込みについて（説明） 2) 下水道使用料改定の必要性について
会議資料の 名称及び内 容	会次第 説明資料（第3回審議会）（スライド）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
1	開会

	<p>2 今後の事業費や経営状況の見込みについて 事務局より説明（資料の11ページまで）</p> <p>事務局からの説明を受けての意見</p>
委員	<p>大規模災害に関し、上水道の復旧は報道されるが、下水道に関してはあまりない。多くの方々の目に入ってこないのかなと思う。前回、施設見学をして汚水をどう処理しているか分かった方々もおおり、施設の老朽化も目についたと思う。</p> <p>突発的な故障も出てきているので、シミュレーション以上に費用がかかるかもしれない。将来的には人口も減り、収入も減る。</p> <p>使用料の改定は、避けられないと思う。ただ、市民立場では、急激な増額も困る。</p>
委員	<p>前回施設見学して、老朽化したモーターなどを見た。毎年メンテナンスしているとの認識で良いのか。</p> <p>施設見学して状況を理解できたし、他に収入もない状況だから、使用料改定もやむを得ないかな、との認識。ただ、市民の方が値上げの改定だけを聞いた、「なんで今まで改定しなかったのか」と絶対誤解すると思う。その説明も必要と思う。</p> <p>また、農業集落排水事業は別会計とのことだが、メンテナンスは同じくらい費用がかかるのか。</p>
事務局	<p>農集排事業についても、耐用年数を伸ばすような維持管理を行っている。</p> <p>ストックマネジメント計画（公共施設の改築更新計画）に基づき、その中で事業費の平準化やメンテナンスを行い、ある時期が来たら施設の更新をする。それに費用がかかることになる。</p>
委員	<p>市内の事業所の立場から考えると、「使用料が上がる・上がらない」の以前に、公共下水道のサービスを受けられなくなるのがデメリットになると思う。</p> <p>今の状況を続けるために、設備のメンテナンスも必要であり、使用料改定で事業所の負担も増えるデメリットがあるが、公共下水道のサービスを受けるメリットも含めて、説明が必要かと思う。</p>
委員	<p>下水を大量に使うところもあれば、そうでないところもある。1人暮らしの方、大家族、企業によって金額も変わる。色々な角度からのシミュレーションや議論（どのような影響が出るか）をお願いしたい。</p>
委員	<p>料金の値上げはやむを得ないのかな、と思う。独立採算という公営企業会計の原点に戻る必要があるかと。</p>
委員	<p>前回の審議会でも施設見学して、施設の老朽化を見て、認識が改まった。物価高騰</p>

	<p>が続く中で、料金の値上げには反発も出るだろうが、財政が厳しい状況から「値上げするしかない」と理解は得られるかもしれない。</p> <p>上水道と違って、下水道を普段の生活で意識することはない。</p> <p>例えば、小学生のときから下水道施設を見学するなど、下水道が生活に密着しており、恵まれた環境にあることを認識してもらい、そういった市民への意識づけも必要と思う。</p>
委員	<p>将来的に持続可能な下水道を継続するためには、何らかの負担を求めないといけないと思う。なぜ今の時期に値上げなのか、浄化槽区域との負担の公平性とか、住民の理解を得られるよう、検討していただけたらと思う。</p>
委員	<p>市や住民が現状（下水道使用料の改定など）を変えないままにして、非常事態になった場合、県は何らかの支援をしていただけるのか。</p>
委員	<p>下水道に限定しての回答だが、地方分権の時代であり、基本的には当該自治体なり住民が自主的に判断しないとイケない。国県の支援を期待しても、限界はあるかと思う。</p> <p>ただ、広域行政的な支援は必要になってくると考える。</p>
委員	<p>支出を減らす意味でも、アウトソーシング（業務の外部への委託）などの方法を検討してはどうか。</p> <p>大規模な地震などが起きた際も、トイレは使い続けることになるので、公衆衛生の確保のためには、汚水をきれいに流せる施設は必要なので、施設の耐震化のためにも料金改定は必要と思う。</p>
委員	<p>下水道使用料は、公共的な性質なので、税金と同じ感覚で捉える方もいると思う。</p> <p>①独立した会計で、基準外の繰入金を入れて経営が成り立っていること、②大規模な設備投資をしなければ、逆に維持費用がこれだけかかる、とかの説明もした方が良い。</p> <p>施設の設備が新しくなれば、人件費なども含めてこれだけのメリットがある、それで将来的にも持続できる、と丁寧な説明が必要。</p> <p><u>（委員全員の意見として、使用料の改定は必要との認識を確認した。）</u></p>
事務局	<p>（委員からの意見をふまえて）</p> <p>下水道事業は、厳しい経営状況にあり、なくなつては困る施設。適切な水準にするための使用料改定をご審議いただいているが、市民への説明が今後重要になってくる。どうやって説明責任を果たしていくのか、今後検討していきたい。</p>

	<p>3 使用料改定のシミュレーション 事務局より説明（資料の13～17ページ）</p>
委員	<p>事務局からの説明を受けての質疑応答 シミュレーションを作る際、実際の経費は予想よりも上回ることがある。 使用料の20%以上の改定は必要かと思う。</p>
事務局	<p>シミュレーションで示した維持管理費は、ここ5年ほどの物価上昇の動向を参考に算出した。他の自治体のシミュレーションも参考にしたので、今後の動きによっては、想定しているよりも経費が高くなる可能性もあると思っている。</p>
委員	<p>個人的には、もっと値上がりするかと思っていた。示されたシミュレーションの範囲内で、経費回収率が100%になるなら、この上げ幅でも可能かなと思った。 (シミュレーションの中で最大の)660円値上がり示された理由と、660円上がったときに、県内市町村との比較でどの位置になるのか教えていただきたい。</p>
事務局	<p>料金値上げの上限を設定するときに、地域間の公平性を考えて、また合併処理浄化槽区域とのバランスで、浄化槽世帯の負担を超えないことがあった。 5年に1度の検証期間、今後10年間を見越したときに、まずは、浄化槽世帯との費用バランスを考えた。 現時点で日向市の下水道の使用料単価は、県内各市では一番低い。660円の値上がりを設定したとき、使用料単価が158円くらいで、各市のなかでも一番高いところになると想定している。 ただ、使用料改定は、各市同じタイミングで行っており、今後各市ともに料金は高くなると予想している。</p>
委員	<p>今思い切り値上げするのか、それとも5年後に再度見直してまた値上げする段階的な方法が良いのか、どういうふうに納得してもらおう形で説明するか、気になっている。 個人的にどのパターンが良いか、正直まだ分からないところがある。</p>
	<p>4 段階的改定パターンについて 事務局より説明（資料の19～21ページ）</p>
委員	<p>事務局からの説明を受けての質疑応答 (自宅から水道の検針票を持参。使用料の単価の考え方を質問。)</p>

事務局	<p>これまでの審議会で、日向市の使用料単価は、127円/m³と説明してきた。確認させていただいた検針票は、16m³使用で2,310円。1m³あたり144円くらいになる。</p> <p>少なく使用しても、基本料金の550円（税込み）は変わらないため、節約して使うほど、単価が高くなる計算になる。</p> <p>事務局が示してきた単価は、一般家庭や事業所すべてを含めての全体的な計算で算出したもの。</p>
委員	<p>個別の家庭の使用状況によって、料金が変わってくるのが理解できた。上水道料金が段階的に値上げした結果、大きな負担感もなく理解を得られたように見受けられた。</p> <p>下水道使用料でも、その段階的な値上げの方法が参考になるのではないか。</p>
事務局	<p>今回のシミュレーションで示した中で、例えば一番上げ幅が低い330円値上げで、いきなり改定するのか、それとも段階的に330円値上げするのか、色々な考え方ができると思う。</p> <p>（どのシミュレーションでなければならない、との正解はないので）</p>
委員	<p>事業所の立場からすると、段階的な値上げの方が準備しやすいのかなと思う。</p> <p>1度値上げして、次はいつまでにくら値上げする、とか市民の方や事業所に理解してもらえるよう、周知するのが良いと思う。</p>
委員	<p>これだけ地球温暖化が進む中、下水道の処理の仕方がこのまま続くのか気になった。抜本的な大きな工事が必要になるのでは、今後どれだけの設備費用がかかるのか疑問に思った。</p>
事務局	<p>設備の更新、耐震化に関し、今後10年間の整備計画を立てており、事業費も盛り込んでシミュレーションしている。</p> <p>人口減少社会に突入し、有収水量（下水道使用料で賄う汚水量）も減る中、施設も規模縮小して更新する必要がある。</p> <p>施設の統廃合（共同化）で、財光寺の汚泥処理場でのし尿や浄化槽の汚泥処理を、下水処理場と一体化する方向で進めており、また、民間活力の導入も検討している。市としても、将来の維持管理費を抑制するための経営努力し、効率化を目指している。</p>
委員	<p>経費回収率100%を考えたら、事務局が示したパターン2かパターン3になるかなと思う。</p> <p>ただ、一気に値上げするのか、段階的に値上げするのが良いか、現段階では判断</p>

	<p>できない。</p>
委員	<p>国から示されている経費回収率100%、県内各市との比較、浄化槽区域との公平性、そこをふまえて使用料単価を想定されたと思う。</p> <p>今後10年間の計画が作られているとの話だが、施設の更新、耐震化こういったものをしないといけないので、使用料もこのくらい値上げしないといけない、とのことを合わせて説明していただけると、市民の方もわかりやすいのかなと。管路の耐震化率をどの程度目指しているのかなど。</p>
事務局	<p>経費については、今回の資料の「建設改良費・維持管理費の推移」で示させていただいている。そのあたりも整理させていただきたいと考えている。</p>
委員	<p>使用料の値上げを最終的にどこに持っていくのか、令和15年度の158円に近づけないといけないのかなと思う。</p> <p>施設の更新や資金の借入れにも費用がかかる。やはりどのタイミングで値上げするのが大事と思う。</p>
委員	<p>「改定率」にも注意したほうが良い。消費税が10%上がったとき、「これだけ負担が大きくなるのか」と実感したと思う。</p> <p>今回の使用料改定でも12%上がるとなったら、消費税と同じ感覚になる。金額で330円上がる、と聞くと「それで済むのか」と思うのかもしれない。</p> <p>経費回収率100%を目指すのであれば、最初の2年間は12%改定で、令和9年度に20%改定にする。最低ラインとしてはありかなと思う。</p>
事務局	<p>「改定率」の表現は、どこの自治体が今回改定を行う、というときにどうしても出てくる表現で、他市との比較でも出てくる。こういった金額です、という補足説明も必要かなと思った。</p>
事務局	<p>(水道料金の段階的な改定を参考にしては、との意見への補足説明)</p> <p>水道料金は、令和4年度に改定を審議し、令和5年1月に1回目の改定、今年7月に2回目の改定を行っている。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の拡大、燃油の高騰などの世界情勢、そういった非常に個人の負担が大きい時期だったので、基本料金550円を最初の6か月免除する形で改定を始めた。そういったところを、今回の下水道使用料の改定でも同じようにするのは少し違うかな、と思っている。</p> <p>(質疑応答終了)</p>
事務局	<p>今回の意見をふまえ、次回の審議会で、シミュレーションに検討結果や方向性を</p>

付け加えたいと考えている。

併せて、最終的に市長に提出する答申書案を次回お示しできれば、と考えている。

5 その他

次回の審議会の日程案内：令和6年9月20日（金）午後2時から

6 閉会